

# 細谷章夫教授 経歴

## 年 譜

昭和13年 1 月19日 東京都千代田区飯田橋に生れる

## 学 歴

昭和36年 3 月 茨城大学文理学部学科卒業

昭和39年 3 月 東京都立大学大学院人文科学研究科哲学専攻（哲学）修士課程修了

## 職 歴

昭和39年 4 月 私立京華高等学校非常勤講師（昭和53年 3 月まで）

昭和47年 4 月 茨城大学教養部非常勤講師（哲学、ドイツ語）（昭和53年 3 月まで）

昭和53年 4 月 鹿児島県立短期大学助教授（哲学、倫理学）（昭和63年 3 月まで）

昭和56年 9 月 西ドイツ（ミュンスター大学）に研究員として留学（昭和57年10月まで）

昭和63年 4 月 鹿児島県立短期大学教授（哲学、倫理学）（平成15年 3 月まで）

平成元年 4 月 鹿児島大学教養部非常勤講師（倫理学）（平成 8 年 3 月まで）

平成 6 年 4 月 鹿児島工業高等専門学校非常勤講師（倫理学）（平成 7 年 3 月まで）

平成 8 年 4 月 鹿児島県立短期大学文学科長（平成12年 3 月まで）

## 学会及び社会における主な活動

昭和39年 4 月 日本哲学会会員（現在に至る）

昭和43年 4 月 日本科学哲学会会員（現代に至る）

昭和43年 4 月 中世哲学会会員（現代に至る）

昭和59年 4 月 日本カント協会会員（現代に至る）

昭和59年 4 月 三田哲学会会員（現代に至る）

昭和59年 4 月 西日本哲学会会員（現代に至る）

# 細谷章夫教授 研究業績

## (著書)

1. 『哲学の世界』(共著) 学陽書房 昭和50年5月
2. 『カント読本』(共著) 法政大学出版局 平成元年6月
3. 『カント事典』(共著) 弘文堂 平成9年

## (論文)

1. カントの就職論文における感覚的認識と悟性的認識 『哲学』(三田哲学学会) 昭和44年11月
2. カントの第一第二アンチノミー 『鹿児島県立短期大学紀要』第29号 昭和54年3月
3. カントの理性の統制的使用について 『人文』(鹿児島県立短期大学人文学会) 第3号 昭和54年6月
4. カントの第一版における「純粹悟性概念の演繹」 『人文』(鹿児島県立短期大学人文学会) 第4号 昭和55年6月
5. カントの第三批判「序論」における目的論的判断力と美感的判断力 『人文』(鹿児島県立短期大学人文学会) 第5号 昭和56年8月
6. カントの第二版における「純粹悟性概念の演繹」 『鹿児島県立短期大学紀要』第33号 昭和57年12月
7. カントの第三アンチノミー 『鹿児島県立短期大学紀要』第34号 昭和58年12月
8. カントの第四アンチノミー 『鹿児島県立短期大学紀要』第35号 昭和59年12月
9. アンチノミーにおける統制的原理 『理想』(理想社) 第635号(夏号) 昭和62年7月
10. カントの統制的原理の使用について 『鹿児島県立短期大学紀要』第39号 昭和63年12月
11. カントの「誤謬推理」(純粹理性批判の第一版) 『人文』(鹿児島県立短期大学人文学会) 平成2年8月
12. 第三批判の「判断力」(その1)(合目的性の概念) 『鹿児島県立短期大学紀要』第41号 平成2年12月
13. 統一後のドイツ(ドイツ事情あるいは印象記) 『人文』(鹿児島県立短期大学人文学会) 平成3年8月
14. 第三批判の「判断力」(その2)(描写、反省的判断力の概念) 『人文』(鹿児島県立短期大学人文学会) 第16号 平成4年8月
15. 第三批判「序論」にみるカントの哲学体系 『鹿児島県立短期大学紀要』第44号 平成5年12月

16. 韓国事情 ―金融実名制と北朝鮮問題― 『人文』（鹿児島県立短期大学人文学会）第18号 平成6月8月
17. カントの「美」の分析 『人文』（鹿児島県立短期大学人文学会）第19号 平成7年8月
18. 佐多町の信仰風土 『研究年報』（鹿児島県立短期大学地域研究所）第25号 平成8年3月
19. カントの目的論の原理 『鹿児島県立短期大学紀要』第47号 平成8年12月
20. カントの「目的論的判断力の弁証論」 『鹿児島県立短期大学紀要』第48号 平成9年12月
21. 金久氏の「8月踊りの由来」について 『研究年報』（鹿児島県立短期大学地域研究所）第26号 平成9年12月
22. 伊佐地区の文化風土 『研究年報』（鹿児島県立短期大学地域研究所）第27号 平成10年12月
23. カントの第三批判「弁証論」における目的論の原理 『鹿児島県立短期大学紀要』第50号 平成11年12月
24. カントの第一批判における「序文」（第一版および第二版） 『鹿児島県立短期大学紀要』第51号 平成12年12月
25. 統一ドイツ10周年（ドイツ事情） 『人文』（鹿児島県立短期大学人文学会）第25号 平成13年8月
26. カントの超越論的演繹一般について 『鹿児島県立短期大学紀要』第53号 平成14年12月

（その他）

1. アストラジンガ人相拝見（共） 翻訳 『研究年報』（鹿児島県立短期大学地域研究所）第24号 平成8年3月
2. The Life of the Palauans and Siukang (Custom) 報告書 鹿児島大学南太平洋海域研究センターの特定研究No30 平成8年

（学会発表）

1. カントの統制的原理について 昭和55年 鹿児島哲学会 （於：鹿児島大学）
2. カントの第三アンチノミーの解決 昭和60年 日本カント協会 （於：東洋大学）
3. カントの目的論 昭和60年 鹿児島哲学会 （於：鹿児島大学）
4. カントのアンチノミーの解決における統制的原理 昭和61年 西日本哲学会 （於：西南学院大学）
5. カントの統制的原理の使用について 昭和63年 三田哲学会 （於：慶応義塾大学）
6. カントの美感的判断力と目的論判断力 平成2年 鹿児島哲学会 （於：鹿児島大学）

7. カントの第一批判における統制的原理 平成2年 西日本哲学会 (於：九州大学)
8. 第三批判「序論」について 平成4年 カント研究会 (於：佛教大学四季センター)
9. 第三批判「序論」にみるカントの哲学体系 平成5年 東京都立大学哲学会 (於：東京都立大学)
10. カントの美学をめぐる話(共) 平成5年 鹿児島哲学会 (於：鹿児島大学)
11. カントにおける「世界の概念」(共) 平成7年 日本カント協会 (於：山口大学)
12. カントの「自然の目的」の概念 平成11年 三田哲学会 (於：慶応義塾大学)
13. 第一批判「序文」の重要性 平成13年 カント研究会 (於：上智大学)
14. いかにして教育の倫理学は可能か(共) 平成14年 日本倫理学会 (於：一橋大学)